



## 2018年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年7月31日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス  
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釜井 節生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 酒井 次郎

TEL 03-6713-6160

四半期報告書提出予定日 2018年8月3日

配当支払開始予定日

2018年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年12月期第2四半期の連結業績(2018年1月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	43,086	6.3	3,801	21.3	3,860	20.2	2,641	5.7
2017年12月期第2四半期	40,525	2.4	3,133	6.2	3,210	8.9	2,801	10.8

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 2,512百万円 (9.1%) 2017年12月期第2四半期 2,763百万円 (41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	81.08	
2017年12月期第2四半期	85.97	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第2四半期	76,641	49,421	64.5
2017年12月期	72,003	47,800	66.3

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 49,397百万円 2017年12月期 47,771百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期		25.00		27.00	52.00
2018年12月期		28.00			
2018年12月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	5.5	7,000	27.5	7,034	24.7	4,807	8.3	147.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期2Q	32,591,240 株	2017年12月期	32,591,240 株
期末自己株式数	2018年12月期2Q	8,623 株	2017年12月期	8,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期2Q	32,582,676 株	2017年12月期2Q	32,582,770 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2017年12月期 第2四半期累計	2018年12月期 第2四半期累計	増減	前年同期比
売上高	40,525	43,086	+2,561	106.3%
営業利益	3,133	3,801	+668	121.3%
営業利益率	7.7%	8.8%	+1.1p	-
経常利益	3,210	3,860	+650	120.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,801	2,641	△160	94.3%

当第2四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年6月30日)におけるわが国経済は、原材料価格の上昇や米国の通商政策への警戒感の高まり等から先行きに不透明感はあるものの、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直し等を背景に景気は緩やかな回復が継続しました。情報サービス産業におきましても、企業の情報化投資への需要が高まる中、概ね良好な事業環境が継続しました。

かかる状況の下、当社グループは、ソリューションの差別化ならびに業績の拡大を目指し、2016年度からの3ヵ年を対象とした中期経営計画「ISID Open Innovation 2018『価値協創』」を推進しております。計画最終年度となる当連結会計年度は、「Society5.0の実装・実現に向けて」を新たな行動ビジョンとして掲げ、当社グループにとって過去最高となる売上高880億円、営業利益70億円の達成、ならびに中期経営計画目標に掲げた営業利益率8.0%の実現を目指します。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比増収の43,086百万円(前年同期比106.3%)となりました。当社グループが展開する4つの事業セグメントのうち、エンジニアリングソリューションならびにコミュニケーションITが増収を牽引しました。

利益面では、増収による効果に加え、コンサルティングサービスおよびソフトウェア製品を中心に売上総利益率が向上したことから、営業利益は3,801百万円(同121.3%)、経常利益は3,860百万円(同120.2%)といずれも前年同期比増益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に固定資産の売却による特別利益の計上等があったことから、前年同期比減益の2,641百万円(同94.3%)となりました。

事業セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■事業セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

事業セグメント	2017年12月期 第2四半期累計			2018年12月期 第2四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	10,542	977	9.3%	10,599	715	6.7%	+57	△262
ビジネスソリューション	8,960	399	4.5%	7,933	261	3.3%	△1,027	△138
エンジニアリング ソリューション	12,337	662	5.4%	14,579	1,333	9.1%	+2,242	+671
コミュニケーションIT	8,683	1,094	12.6%	9,974	1,491	14.9%	+1,291	+397
合計	40,525	3,133	7.7%	43,086	3,801	8.8%	+2,561	+668

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関の各種業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第2四半期連結累計期間は、次世代融資ソリューション「BANK・R」等のソフトウェア製品販売が減少したものの、主要顧客向けのシステム開発売上が拡大したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。利益面につきましては、主として収益性の高いソフトウェア製品販売の減少により減益となりました。

ビジネスソリューション

基幹システムや経営管理分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第2四半期連結累計期間は、人事管理ソリューション「POSITIVE」等のソフトウェア製品販売が堅調に推移したものの、受託システム開発ならびにソフトウェア商品の大型案件終了に伴う反動減の影響により、売上高は減収となりました。利益面につきましても、不採算案件の拡大や新規発生を抑制したものの、減収の影響により減益となりました。

エンジニアリングソリューション

製造業の製品開発・製造分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第2四半期連結累計期間は、3次元CADシステム「NX」ならびに製品ライフサイクル管理（PLM）ソリューション「Teamcenter」を中心としたソフトウェア商品販売が電機・精密業界向けを中心に拡大しました。加えて、自動車業界向けには、スマートファクトリー領域のソフトウェア商品販売やコンサルティングサービスも拡大したことから、売上高は増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

コミュニケーションIT

電通グループに対する基幹システムの提供、ならびに電通グループとの協業によるITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第2四半期連結累計期間は、電通グループ向けのシステム開発ならびにアウトソーシング・運用保守が拡大しました。また、電通グループとの協業によるビジネスもデジタルマーケティング領域を中心に拡大したことから、売上高は増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、売上債権等が減少したものの、主として前渡金や預け金の増加により流動資産が3,761百万円増加しました。また、有形固定資産、関係会社出資金および投資有価証券の増加等により固定資産についても877百万円増加した結果、前連結会計年度末の72,003百万円から4,638百万円増加し、76,641百万円となりました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の部は、主として前受金や未払費用の増加により流動負債が2,735百万円増加したことに加えて、リース債務の増加等により固定負債が282百万円増加した結果、前連結会計年度末の24,203百万円から3,017百万円増加し、27,220百万円となりました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、その他の包括利益累計額が減少した一方、利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末の47,800百万円から1,621百万円増加し、49,421百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2018年2月9日に発表した予想から変更はございません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,369	3,538
受取手形及び売掛金	18,706	16,905
商品及び製品	107	139
仕掛品	1,318	1,691
原材料及び貯蔵品	21	24
前渡金	6,548	9,408
預け金	27,276	29,429
その他	1,964	1,936
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	59,311	63,072
固定資産		
有形固定資産	3,243	3,795
無形固定資産	2,849	2,886
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,599	6,887
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,598	6,886
固定資産合計	12,692	13,569
資産合計	72,003	76,641
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,086	6,237
未払法人税等	1,326	1,341
前受金	7,790	10,095
受注損失引当金	622	547
その他	6,124	6,463
流動負債合計	21,950	24,685
固定負債		
退職給付に係る負債	15	19
資産除去債務	895	896
その他	1,341	1,619
固定負債合計	2,252	2,534
負債合計	24,203	27,220

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	23,897	25,659
自己株式	△29	△29
株主資本合計	47,334	49,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	81
為替換算調整勘定	340	220
その他の包括利益累計額合計	436	301
非支配株主持分	28	23
純資産合計	47,800	49,421
負債純資産合計	72,003	76,641

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
売上高	40,525	43,086
売上原価	27,513	28,845
売上総利益	13,011	14,240
販売費及び一般管理費	9,878	10,439
営業利益	3,133	3,801
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	24
持分法による投資利益	0	—
保険配当金	42	48
助成金収入	23	—
雑収入	21	44
営業外収益合計	106	117
営業外費用		
支払利息	8	11
持分法による投資損失	—	5
為替差損	10	5
投資事業組合運用損	8	30
雑損失	1	7
営業外費用合計	28	59
経常利益	3,210	3,860
特別利益		
固定資産売却益	657	—
特別利益合計	657	—
税金等調整前四半期純利益	3,868	3,860
法人税、住民税及び事業税	993	1,301
法人税等調整額	67	△89
法人税等合計	1,061	1,212
四半期純利益	2,807	2,647
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,801	2,641

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	2,807	2,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△14
為替換算調整勘定	△49	△120
その他の包括利益合計	△44	△135
四半期包括利益	2,763	2,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,756	2,506
非支配株主に係る四半期包括利益	6	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	10,542	8,960	12,337	8,683	40,525
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,542	8,960	12,337	8,683	40,525
セグメント利益	977	399	662	1,094	3,133

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	10,599	7,933	14,579	9,974	43,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,599	7,933	14,579	9,974	43,086
セグメント利益	715	261	1,333	1,491	3,801

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)における生産実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	7,948	104.3
ビジネスソリューション	4,740	90.8
エンジニアリングソリューション	3,044	119.3
コミュニケーションIT	4,117	112.6
合計	19,850	104.2

- (注) 1. 金額は、販売価格に換算して表示しております。  
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)における受注状況を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	18,717	170.6	13,332	238.8
ビジネスソリューション	8,069	93.5	6,131	100.8
エンジニアリングソリューション	17,463	117.1	11,320	116.9
コミュニケーションIT	12,261	102.7	6,769	110.4
合計	56,512	121.6	37,554	136.7

- (注) 1. 2018年12月期より全サービス品目を対象とした数値に記載を変更しております。  
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)における販売実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	10,599	100.5
ビジネスソリューション	7,933	88.5
エンジニアリングソリューション	14,579	118.2
コミュニケーションIT	9,974	114.9
合計	43,086	106.3

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通及び そのグループ会社	7,032	17.4	8,332	19.3